

令和6年度

浜松市立相生小学校 第4回 学校運営協議会

令和7年 2月14日(金)

まとめの会 9:30~10:00

感謝する会 10:10~10:30

協議会 10:30~12:00

場 所 : 多目的室、体育館

次 第

開会 開催要件(委員の過半数の出席)確認 〈 司会:村上 記録:伊藤 〉

1 会長挨拶

2 校長挨拶

3 議長の選出

4 前回会議録確認

5 熟議 〈 議長: 〉

(1) 学校関係者評価について(「いじめ防止等のための基本方針について」を含む)

(2) 来年度の学校運営の基本方針について

(3) 学校運営協議会の自己評価について

6 報告 〈 司会:村上 記録:伊藤 〉

・学校支援CDからの活動報告

・夢育やらまいかCS加算分の報告

7 連絡

・令和7年度 第1回 令和7年5月12日(月) 13:20~

・次回熟議内容の確認

第4回 学校運営協議会出席者

学校運営協議会委員

会長	こすぎ しずよ 小杉 思主世
副会長	おおたに かずお 大谷 一雄
委員	ひろの あつお 廣野 篤男
委員	ながさわ ひでゆき 長澤 秀幸
委員	みずたに かずよ 水谷 加寿代
委員	すずき まいこ 鈴木 麻衣子（学校支援CD）
委員	はら たかゆき 原 隆之
委員	もりた けんじ 森田 賢児
委員	いとう だいすけ 伊藤 大輔
委員	なかがわ ゆか 中川 有香（学校支援CD）

オブザーバー

東部協働センター	神谷 匠
----------	------

学校

校長	小林 延和
教頭	鈴木 滋雄
主幹	鈴木 由香
C S 担当教職員	村上 友香
C S ディレクター	伊藤 龍彦

浜松市教育委員会

教育総務課	鈴木 陽子
-------	-------

令和6年度学校運営協議会 年間計画(案)

令和6年4月1日～令和7年3月31日

※ 委員の過半数の出席がないと開催できません。

※ 感染症の感染拡大防止等、状況により、開催が中止、あるいは延期になる場合があります。

回	日時 会場	主な内容 熟議のテーマ 等	備考
1	令和6年 5月10日 金曜日 13:20～15:30 多目的室	熟議テーマ (1)学校運営の基本方針について 説明 ⇒ 質疑・応答、熟議 (2)夢育やらまいか事業に対する意見書について (3)学校運営協議会の自己評価について	(授業公開) 13:25～13:55 各教室
2	令和6年 6月28日 金曜日 13:20～15:30 多目的室	熟議テーマ (1)主体性を育むために必要な支援について (2)その他喫緊の課題	(授業公開) 13:25～13:55 各教室
3	令和6年 11月7日 木曜日 13:20～15:30 多目的室	熟議テーマ (1)前期学校評価の結果より (2)主体性を育むための具体策について (3)地域人材活用について	(授業公開) 13:25～13:55 各教室 ★学校運営協議会の自己評価 表→学校への提出 11/21(木)までに
4	令和7年 2月14日 金曜日 9:30～12:00 多目的室	熟議テーマ (1)学校評価について 自己評価(分析・改善方策)説明 (2)来年度学校運営の基本方針について 説明⇒質疑・応答、熟議⇒承認 (3)学校運営協議会の自己評価について	(授業公開) 9:30～ 「風の子・太陽の子応援団 まとめの会」 10:10～ 「感謝する会」

令和6年度学校評価アンケート(12月) 前期、前年度比較
○集計 一覧 (1)

R6.12実施

	児童	よくできている十大大 できている(%)	保護者	よくできている十大大 できている(%)	教職員	よくできている十大大 できている(%)
なり 学 び 合 い 、 自 分 に 向 か っ て 成 長 す る 主 体 的 に	授業で学ぶことの意味や目的、 学ぶ良さが分かっている。	88 前期88	子供は学ぶ意味や目的、学ぶ良 さが分かっている。	81 前期79	学ぶ意味や目的、学ぶ良さを子 供たちが分かるような授業をして いる。	91.3 前期95.8
	学習のめあてを解決するための 調べ方や話合いの仕方が分かっ ている。	87 前期85	子供は、課題解決の方法や手順 などの学び方が分かっている。	71 前期70	子供たちが学び方が分かるよう に、手立てを講じている。	100 前期92
	授業で目当てについて考えるときに、前に学んだ こととつながり友達の話聞いて自分の考えと 比べたり違いや同じところを探したり理由をつけて 自分の考えを言ったりしている。	87 前期85			「比べる」「仲間分けする」「つなげる」「順 序良く並べる」「類推する」などの考え方を 示し、授業をしている。	79.2 前期64
			子供は、家庭学習に自ら進んで 取り組んでいる	81 前期82 R5 78.2・R4 66.7		

自 他 の よ さ を 知 り 、 認 め 合 い 高 め 合 う 子	友達のよいところに気付くことがで きている。	94 前期91 R5 88	子供は、友達のよいところに気付 き、協力し合っている。	95 前期95 R5 92.5	自分や友達のよいところを認め、 仲良く生活できるような手立てを 講じている。	100 前期95.8 R5 89.0・R4 86.2
	よいことと悪いことを判断し行動す ることができている。	85 前期82 R5 82.8・R4 87.4	子供は、よいことと悪いことを判断 し、正しく行動することができている。	90 前期89 R5 91.7・R4 93.1	善悪を判断し、行動できるような 手立てを講じている。	100 前期92 R5 100.0・R4 89.7
	いつでもだれに対してもあいさつを することができている。	88 前期89 R5 85.0・R4 82.9	子供は、地域や家庭で進んで挨拶 することができている。	78 前期77 R5 85.2・R4 75.2	いつでも誰にでも挨拶ができるよう な手立てを講じている。	83.3 前期79.2 R5 59.0・R4 69
	よりよい学級・学年・学校にするた めに進んで働くことができている。	90 前期92 R5 88.9・R4 86	子供は、人のために進んで働くこ とができている。	88 前期85 R5 84.9・R4 82.1	よりよい学級・学年・学校にするた めに働くことができるような手立て を講じている。	95.9 前期92 R5 100.0・R4 93.1

心 身 と も に 健 康 で 、 鍛 え 合 い 、 あ き ら め ず に 挑 戦 し 続 け る 子	体を動かすことが楽しく学校で進 んで運動している。	85 前期82 R5 84.4・R4 88.7	子供は、体を動かすことが好き で、学校で進んで運動している。	82 前期83 R5 84.7・R4 80.3	体を動かす楽しさを味わい、進ん で運動するような手立てを講じて いる。	100 前期91.6 R5 76.0・R4 96.6
	健康に気を付けて、生活してい る。	90 前期86 R5 86.7	子供は、健康に気を付けて生活 している。	92 前期91 R5 91.1	健康に気を付けて生活ができるよ うな手立てを講じている。	96 前期96.2 R5 86
	周りをよく見て安全に生活するこ とができている。	89 前期88 R5 86.1・R4 91.4	子供は、周りの状況を見て安全に生 活することができている。	93 前期91 R5 91.7・R4 93.4	周りの状況を見て安全に生活で きるような手立てを講じている。	95.9 前期84.6 R5 79.0・R4 72.4

キ ャ リ ア 教 育	相手の話をよく聞き、友達と協力 して行動している。	91 前期89 R5 89.3・R4 91.8	子供は、相手の話をよく聞き、友 達と協力して行動することができ る。	94 前期90 R5 90.1・R4 90.5	子供が相手の話を聞き、友達と 協力して行動できるような手だて を講じている。	95.8 前期92 R5 84.0・R4 86.2
	自分のよさに気付き、自信をもっ ている。	80 前期79 R5 75.2・R4 79	子供は、長所を伸ばしたりさらに 高めようと努力したりしている。	85 前期82 R5 83.1・R4 81.2	子供が自分のよさに気付き、自 信をもつような手立てを講じてい る。	95.8 前期100 R5 87.0・R4 86.2
	失敗を恐れず自分の考えた方法 で繰り返し挑戦している。	85 前期84 R5 81.1・R4 80.7	子供は、失敗を恐れず自分の考 えた方法で繰り返し挑戦すること ができる。	78 前期72 R5 72.6・R4 68.5	子供が失敗を恐れず自分の考 えた方法で繰り返し挑戦できるよ うな手だてを講じている。	95.8 前期88 R5 80.0・R4 79.3
	夢や目標に向かって努力したり、 意欲をもって学ぶことができる。	89 前期88 R5 88.5・R4 89.3	子供は、夢や目標に向かって努力 したり、意欲をもって学んだりす ることができる。	80 前期78 R5 76.4・R4 77.8	子供が夢や目標に向かって努力 したり、意欲をもって学ぶことが できるような手立てを講じている。	95.9 前期95.8 R5 97.0・R4 89.7

令和6年度学校評価アンケート(12月)

○集計 一覧 (2)

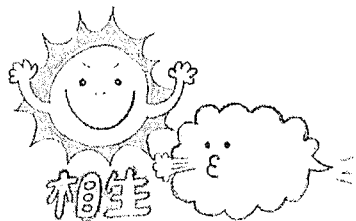
R6.12実施

児童	よくできている＋大 体できている(%)	保護者	よくできている＋大 体できている(%)	教職員	よくできている＋大 体できている(%)
学校は楽しい。	89 前期89 R5 90.4				
先生は、よいところをほめてくれる。	92 前期94 R5 90.7				
先生は授業でキャリア教育で育てたい4つの力について話してくれる。	92 前期87 R5 89.1	相生小のキャリア教育で育てたい4つの力について知っている。	82 前期85 R5 76.6		
先生はchromebookを使った授業をしてくれる。	95 前期94 R5 84.4	学校は、タブレットパソコンや大型テレビなどのICT機器を使って授業をしている。	93 前期93 R5 80.8	ICT機器を活用する場を設定し積極的に利用している。	86 前期69.2 R5 50.0
先生のほかに学習ボランティアさんなどに支援してもらった学習や活動は楽しい。	92 前期94 R5 92.8	学校では教師のほかに学習ボランティアさんなどに支援してもらって学習や活動を行っている。	95 前期94 R5 88.9	コミュニティスクールの導入により、地域や保護者の協力を得ることができている。	88 前期100 R5 90.0
		学校は、子供に寄り添い教育活動をしている。	96 前期97 R5 92.9		
		学校は、学校学年だよりさくら連絡網などで学校の教育活動を知らせている。	99 前期96 R5 95.6	学校学年便り、さくら連絡網での連絡等を通して家庭教育へのサポートができている。	88.5 前期92.3 R5 97.0
		学校は子供のことを相談しやすい。	93 前期93 R5 87.5		
				職員の子供と向き合う時間の確保ができるような手立てが講じられている。	57.7 前期55.5 R5 43.0
				自らのタイムマネジメントができている。	69.2 前期55.5 R5 43.0

令和7年度相生小学校 学校経営方針

1 はじめに

教育目標：風の子 太陽の子～ともに未来を創る～



風の子・・・未来に向かって夢をもち、自ら立てた目標を達成しようと、苦しさにくじけることなく粘り強く挑戦する心身両面にわたるたくましさをもった子

太陽の子・・・みんなのルールを守り、相手の気持ちや立場を考えて思いやりをもって接し、学び合い、共に成長しようとする温かい心をもった子

☆なりたい自分に向かって

- ・知・徳・体のバランスの取れた「生きる力」を育むことができるよう教育活動
- ・キャリア教育で育む基礎的・汎用的能力を基盤として、子供たち自身が「なりたい自分の姿」を具体的にイメージし、自己理解し、自分を成長させていくという意識を持たせていきたい。

☆「風の子 太陽の子」への思い

- ・50年以上にわたる「子供は風の子、太陽の子」の精神を受け継ぎ、運動することの楽しさや喜びを感じ、生涯に渡ってスポーツを愛する子供を育てたり、健康で安全な生活を営む実践力を育てたりする教育活動を推進していきます。

☆自他の命を大切にする教育

- ・毎日子供たちが元気に「いってきます」と家を出て、明るく「ただいま」と帰る学校
- ・相生小児童や教職員等、学校にかかわる全ての人の命を大切にした教育
- ・いじめの未然防止と早期発見、迅速で組織的な対応

☆発達支援教育の理念を根幹に

- ・全ての子供を認め励まし、安心して自己実現を図ることができるよう一人一人を大きく包み込む教育
- ・一人一人の教育的ニーズを探り、適切な指導、支援を考え実践していきます。

学校教育目標

「風の子 太陽の子 ～ともに未来を創る」

目指す学校像

多様性を生かし合い、笑顔あふれる相生小

学び合い(知)

認め合い(徳)

鍛え合い(体)

支え合い(教職員・家庭・地域)

なりたい自分に向かって

自他の命を大切にする教育

発達支援教育の理念

心身の健康と豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育むカリキュラム・マネジメント

2 目指す学校像

「多様性を生かし合い、笑顔あふれる相生小」

相生小学校には一人一人の子供に居場所があり、安全、安心で、学ぶ楽しさと喜びを実感できる場所でありたいと願っています。

子供たちは、自他の考え方や感じ方の違いが価値あるものとして受け入れられ認められることで、自分の存在や他者の存在がかけがえのないものであることを感じていきます。

(1) 命を大切にし、多様性を認め合える安心感のある学級・学年・学校

命を大切にし、安全で、安心感のある学級・学年・学校を学校経営の第一に掲げています。いじめや不登校の問題には全校体制で取り組んでいます。子供一人一人のよさや可能性を最大限に伸ばすことができるのが学校です。1年生から「なりたい自分」の姿を思い描かせ、自分らしさを大切にする子、友達によさに気づき大切にできる子を育てます。一人一人の居場所がり、自己有用感を感じることができる学校を創ります。

(2) 夢と勇気を持ち、主体的な学びができる学校

相生小の子供たちは明るく素直で、元気いっぱいです。2030年には今ある職業の50%以上がなくなると言われていますが、そんな予測不可能な時代を生きていく子供たちに、小学校時代に育てたい力をしっかり身に付けさせるために、一番大切にしているのは授業です。子供自身が「主体的に学び」、「協働して学んでいく」授業を展開しています。体育科のみならず、他の教科においても、「やってみたい」「おもしろい」「もっと調べてみたい」などと、子供の主体的な学びにつなげ、「今の学びが将来や社会とつながってる」ということを実感させるよう努めています。

(3) 心身ともに健康で、明るく元気な教職員がいる活力ある学校

活力ある学校を創造していくためには、日々子供と関わる教職員が元気で明るくはつらつとしていなくてはなりません。いつも笑顔で、子供の人権を尊重し、子供の心の痛みが分かる人間味あふれる教職員を目指しています。

指導力を高める努力を続け、はつらつと真摯に子供に向き合っていきます。

(4) 家庭、地域と連携・協働し、共に歩む学校

子供が意欲をもって登校する原点は、安定した家庭生活にあります。安定した生活リズムは学力向上や心身の健やかな成長につながります。学校は、発達支援教育の理念である子供や保護者の思いや願いに共感するとともに、子供の行動の背景にあるものに思いを寄せ、一人一人の教育的ニーズを探り、各関係機関(医療や行政など)とも連携し、適切な指導、支援を考え実践していきます。御理解、御協力をお願いします。

4年目を迎えるCS(コミュニティスクール)の充実を図り、地域の教育力を積極的に学校教育に生かし、連携・協働する諸活動を展開しています。

3 目指す教師像

- 心身ともに健康で明るく、子供と真剣に向き合う教職員
- 絶えず研修に励み、「分かる」「楽しい」授業を積み重ねようと努力し続ける教職員
- 子供や保護者の気持ちや訴えに共感し、寄り添う教職員
- 互いに尊重し、和と協調で課題解決を図る教職員

4 目指す子供像

- (知) なりたい自分に向かって主体的に学び合い、共に成長する子
- (徳) 自他のよさを知り、認め合い高め合う子
- (体) 心身ともに健康で、鍛え合い、あきらめずに挑戦し続ける子

5 学校経営の重点と具体的な取組

学校教育目標の具現を目指し、「学び合い部【知】」「認め合い部【徳】」「鍛え合い部【体】」の3つの部とそれを支える「支え合い部【共】」で、本校の児童に必要な重点目標と具体的な手立てを整理し、意識して取り組みます。

カリキュラム・マネジメントの視点で、Plan(計画)― Do(実行)― Check(評価)―Action(改善)サイクルを機能させ、保護者・地域・学校運営協議会からの学校評価を活用し、改善を図っていく体制を構築します。知徳体のバランスのとれた教育活動を進め、児童の育ちを温かく見守ります。

各部の重点目標と具体的な取り組みについては、別図。

教育目標：風の子 太陽の子 ～ともに未来を創る～

学び合い部

なりたい自分に向かって主体的に学び合い、ともに成長する子

目指す
子供の姿

認め合い部

自他のよさを知り、認め合い高め合う子

【相生スタンダード】をもとに授業を実践し、子供主体の学びを実現する。

- 学ぶ意味や目的、良さが分かる。
- ・今の学びが自分の未来とつながっていることを伝える。
- ・子供の成長や活動の様子を価値付ける。
- ・自分の成長や課題を実感できるような授業づくりをする。

○学び方が分かる。

- ・「どのように学ぶのか」という課題解決の手順や方法を示す。

課題の提示→学習のめあて→情報

の収集→整理・分析→まとめ

○どのように考えるのかが分かる。

- ・「比べる」「関連付ける」「順序よく並べる」「分類する」「類推する」などの考え方を示す。

○友達と伝え合い、自分の学びを深める。

- ・交流の目的や視点を示す。
- ・自分や友達の考えの違いやよさに気付くようにする。

○自分のよさを知り、多様性を認め合える。

- ・自己のよさや成長を振り返る時間を日常的に設定する。
- ・学期に1回程度、他を知るための活動に取り組む日を設定する。
- ・いじめの未然防止早期発見、組織的対応

○自分で判断し、よいことを進んで行うことができる。

- ・相生マナーを生活のめあてと連動させながら、全職員が共通認識をもち、繰り返し指導に当たる。

- ・全職員でよい行いを褒め、広めていく。
- ・年間を通して児童会活動や学級活動を核に児童の創意を生かす取り組みをしている。

○よりよい学級学年学校にするために働くことができる。

- ・委員会、係活動を通して働くこと、役に立つことのよさを価値付けしていく。
- ・学級での話し合い活動を活性化させ、子供の考えを生かした活動や行事をつくる。

鍛え合い部

心身ともに健康で、鍛え合いあきらめずに挑戦し続ける子

○体を動かす楽しさを味わい、主体的に運動する。

- ・主体的に取り組むことができる体育的行事（新体力テスト、運動会、持久走記録会）を企画・運営する。

- ・生き生きタイムにあいスポーツを実施し、多様な運動に触れる機会、目標に向かって努力できる機会、様々な人との関わりをもてる機会をつくる。

○基本的な生活習慣を身に付け、安全な生活ができる。

- ・清潔検査、保健週間を通して、各種便器等で子供自身と家庭への啓発を行い、健康な生活習慣への関心を高めさせる。
- ・日々の給食を通して、食事のマナーや自分自身に必要な食事量、栄養素を知り、健康な体作りをさせる。
- ・心の日を通して、自己肯定感を高め、心を安定させる。

- ・具体的な場面を想定し、必要感のある避難訓練を実施することで、緊急時の防災意識を高める。
- ・委員会活動や下校指導などを通して、安全な生活や登下校を意識させる。

支え合い部 スローガン「些細なことから支え合い」

○家庭・地域と連携・共同し、ともに歩む学校

- ・CS運営4年目の運営方法確立と、風の子太陽の子応援団の充実
- ・さくら連絡網、ブログ、学校だよりの充実（負担の軽減の踏まえて）

○心身ともに健康で、明るく元気な教職員がいる活力ある学校

- 「子供と向かい合う時間の確保」
- ・無理のない年計・日課。諸活動の調整
- ・教育DXに向けて、「情報」に関する組織・環境整備
- ・スマート会議の運営（最小時間で最大効果）
- ・会計年度任用職員、シルバー人材、CS等の周知
- ・確実且つ効率の良いPDCAシステムづくり

(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(相生小) 学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

- ・学校運営に関するさらなる理解を深めたい。風の子・太陽の子応援団協力者から前年度の活動の感想や改善点を吸い上げ、本年度の活動へつなげていきたい。
- ・学校運営について熟議できるように、活動の方針を学校・保護者・地域で共有できるように努めていく。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

学校行事や授業参観に参加することにより、実際の学校の様子を見ることで、委員ひとりひとりが現状を理解していったと感じる。
『温かくかかわる力』に重点をおいた活動をしていくという共通認識を持ち、自分事として問題を理解し、活発に議論することができた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

地域人材の活用を基本に、それぞれの立場で多様な意見が出された。またボランティア活動の中で、積極的に児童に話しかけコミュニケーションをとる努力を委員それぞれの立場で実践することができた。
ただ、まだまだ理想に近づけていないことが多いので、地域の行事や学校行事、日々の生活の中で、大人から積極的に児童とコミュニケーションと取っていくことを継続して行っていきたい。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

CSたより・コミスクだより・校内展示・新聞掲載などにより、保護者や地域の方々への認知がさらに広がり、ボランティアへの参加が増加している。
児童や保護者アンケートから『学習の充実度があがった』『あきらめずに挑戦する力が高まっている』ことから、協議結果やCS活動の情報発信は広く浸透していると考えます。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

現在の取り組みを継続していきながら、さらなる周知と御協力いただける体制を整えていく
・温かくかかわる に重点を置き、積極的にコミュニケーションを大人からとっていかう
・学校との最大の接点となる『風の子・太陽の子応援団』に現役の力を呼び込もう